

東北海区沿岸水温予報(2015年)

海域	経過 (4~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (7~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁獲)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	●定地水温 太平洋沿岸の定地水温は、4月は「 <b>平年並み</b> 」から「 <b>やや高い</b> 」、5月は「 <b>やや高い</b> 」から「 <b>高い</b> 」となった。 ●日本海定線観測 【4月】 対馬暖流の各層最高水温は、0m層で「 <b>やや高い</b> 」、50m層及び100m層で「 <b>高い</b> 」。 【5月】 対馬暖流の各層最高水温は、0m層で「 <b>高い</b> 」、50m層及び100m層で「 <b>やや高い</b> 」。	●定地水温 太平洋沿岸の定地水温は、「 <b>高い</b> 」で推移。 ●日本海定線観測結果【6月】 対馬暖流の各層最高水温は、0m層、50m層及び100m層共「 <b>高い</b> 」。 ●太平洋定線観測結果【6月】 津軽暖流の各層最高水温は0m層で「 <b>平年並み</b> 」、50m層及び100m層で「 <b>やや高い</b> 」。	「 <b>やや高い</b> 」から「 <b>高い</b> 」で推移すると予測。	太平洋定地水温が高めにシフトしてきていること、また、6月の日本海定線観測で「 <b>高い</b> 」状況にあったことから、太平洋でも高めにシフトすることが予測される。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【4月】 表面水温 距岸10海里以内は、県北部沖でやや高く、県中部及び県南部沖で平年並みで推移していた。距岸10海里以東は、概ね全域で平年並み~やや低めで推移していた。 100m水温 距岸10海里以内は、県中部沖でやや高い~高めのほかは概ねやや高めで推移していた。距岸10海里以東は、県北部及び県中部沖30海里以東と県南部沖10~30海里で平年並み~やや低めのほかはやや高い~平年並みで推移していた。 【5月】 表面水温 距岸10海里以内は、県北部及び県南部沖で平年並み、県中部沖でやや低めで推移していた。距岸10海里以東は、概ね全域でやや低めで推移していた。 100m水温 距岸10海里以内は、県中部沖でやや低めのほかは概ね平年並みで推移していた。距岸10海里以東は、県中部沖10~20海里及び40~50海里付近、県南部20海里付近で平年並み~やや低めのほかは、平年並みで推移していた。	表面水温(6月上旬) 距岸10海里以内は、県北部及び県中部沖で平年並み、県南部沖でやや高めで推移している。距岸10海里以東は県北部及び県中部20~40海里で平年並み~やや低め、県中部及び県南部沖で高い~平年並みで推移している。 100m水温(6月上旬) 距岸10海里以内は、県中部沖でやや高めのほかは概ね全域平年並みで推移している。距岸10海里以東は、県北部沖で平年並み、県中部~県南部沖で高い~平年並みで推移している。	7月上旬は県中部沖10海里及び40~50海里でやや高め、各観測定線0海里定点の10m深で平年並みと予測	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した統計的予測モデルによる。	サバ類(定置網)、マダイ(定置網)は極めて好調に推移している。  平成27年3~5月のカラフトマス(定置網)は著しく低調に推移している。  県南部沖において黒潮系暖水の波及により、表面で最大5℃程度、100m深で最大4℃程度、平年より高く推移している。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<4月> 『親潮系冷水は気仙沼沖で停滞する一方、雄勝沖合ライン(38° 30' N)および亘理沖合ライン(38° N)に沖合から暖水が波及していた。』 【表面水温】 沿岸から沖合海域の表面水温は、5~12℃台であった。気仙沼沖合ライン(38° 50' N)は平年並であった。雄勝沖合ライン(38° 30' N)および亘理沖合ライン(38° N)の141° 50' E以東では暖水が波及し、平年より1~4℃高めであった。 【100m深水温】 100m深水温は5~10℃台であった。気仙沼沖合ライン(38° 50' N)は、平年並であった。雄勝沖合ライン(38° 30' N)および亘理沖合ライン(38° N)の141° 50' E以東では暖水が波及し、平年より1~3℃高めであった。 <5月> 『表面、100m深水温とも142° E以東で平年よりも高め、142° E以西は低めであった。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は7~16℃台となっていた。142° E以東では暖水の波及により平年より概ね1~6℃高くなっていた。 【100m深水温】 100m深水温は5~11℃台となっていた。142° E以東では表面水温同様に平年より1~5℃高くなっていた。	【表面水温】 14~18℃台となっている。141° 30' E以東では沖合からの暖水波及により平年よりも1~3℃高めとなっている。 【100m深水温】 6~10℃台となっている。気仙沼沖合ライン(38° 50' N)から雄勝沖合ライン(38° 30' N)で平年よりも1~4℃程度高め、亘理沖合ライン(38° N)で平年並みとなっている。	<7月> 【100m深水温】 142° 30' E以西の沿岸域はやや高めで推移する。142° 30' E以東は38° 50' Nライン(気仙沼沖)は高めで推移する。38° 30' Nライン(雄勝沖)は極めて高めで推移する。142° 10' E以東の38° Nライン(亘理沖)はやや高めから高めで推移する。 <8月> 【100m深水温】 142° 30' E以西の沿岸域はやや高めで推移する。142° 30' E以東は38° 50' Nライン(気仙沼沖)は高めで推移する。38° 30' Nライン(雄勝沖)は極めて高めで推移する。142° 10' E以東の38° Nライン(亘理沖)は高めで推移する。	水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測  類似年は2009年6月、1991年6月であった。	特になし。

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試 発表)</p>	<p>【4月】 &lt;表層水温&gt; 県北:「<b>平年並み</b>」、県中:「<b>平年並み</b>」、県南:「<b>低め</b>」 &lt;100m深水温&gt; 県北:「<b>平年並み</b>」、県中、県南:「<b>やや低め</b>」 【5月】 &lt;表層水温&gt; 県北、県中、県南:「<b>やや高め</b>」 &lt;100m深水温&gt; 県北、県中:「<b>やや高め</b>」、県南:「<b>平年並み</b>」  ※県北:37-50N、県中:37-25N、県南:37-00N</p>	<p>【6月】 &lt;表層水温&gt; 142-00E以西は15~19℃台で、 県北は「<b>平年並み</b>」、県中、県南は「<b>やや高め</b>」であった。142-15E以東は16~22℃台で、県北は「<b>平年並み</b>」、県中、県南は「<b>やや高め</b>」であった。 &lt;100m深水温&gt; 142-00E以西は6~11℃台で、県北、県中、県南は「<b>平年並み</b>」であった。142-15E以東は5~14℃台で、県北、県南は「<b>やや低め</b>」、県中は「<b>平年並み</b>」であった。</p>	<p>【7月】 県北から県南まで<b>平年並み</b>~<b>高め</b>基調で推移する。  【8月】 県北から県南まで<b>平年並み</b>~<b>高め</b>基調で推移する。</p>	<p>気象庁の1ヶ月予報において、親潮南限位置は「41N、146E付近」、親潮の面積は「平年よりかなり小さい」と予想されている。 FRA-ROMSによると7~8月上旬まで、沿岸への親潮系冷水の波及は弱く、黒潮系暖水の波及が見込まれる。 以上のことから、本県沿岸域の7~8月は<b>平年並み</b>~<b>高め</b>基調で推移すると予測した。</p>	<p>特になし。</p>
<p>常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>4月中旬は、暖水波及の影響により、大洗~犬吠埼沖では「<b>平年より高め</b>」となった。一方、会瀬定線及び沿岸域では冷水が残存し、概ね「<b>低め</b>」となった。 5月上旬は、4月に見られた会瀬定線と沿岸域の冷水が後退し、暖水が波及した影響により、この海域では「<b>平年並み</b>~<b>高め</b>」の水温であった。一方、大洗~鹿島定線の表層~100m深では「<b>低め傾向</b>」であった。</p>	<p>6月上旬は、表層は全地点で「<b>平年並み</b>~<b>高め</b>」であった。50m以深こついても、大洗~鹿島定線の一部では「<b>低め</b>」であったが、その他の海域では概ね全層・全地点で「<b>平年並み</b>~<b>高め</b>」であった。</p>	<p>「<b>平年並み</b>~<b>やや高め</b>」で推移する。</p>	<p>①6月海洋観測100m深水温を用いた自己回帰モデルによる解析では、7月~8月は「<b>平年並み</b>」で推移すると予測結果であった。 ②FRA-ROMSによると、7月上旬の本県沖の表層では引き続き暖水の影響が見られるとの予測結果である。 ③気象庁の1か月予報(6/10発表)によると、親潮第一分枝の先端は北緯41°、東経146°に位置すると予測されている。また、親潮の面積は平年よりかなり小さいとの見通しである。</p>	<p>①4月、銚田市の海岸にカズハゴンドウが大量に打ち上がった。 ②4月、会瀬の大型定置網によるサバの漁獲が例年になく好調。 ③5月、会瀬の定置網によるマダイの漁獲が例年になく好調。 ④5月、底曳き網に深海性のドクウロコツボダイが漁獲される。本県では32年ぶり2例目。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃~	+4.0℃~	+6.0℃~	+2.4℃~	+4.0℃~	+4.0℃~
高い(7.5%)	+1.6~+2.3℃	+2.5~+3.9℃	4.0~+5.9℃	+1.6~+2.3℃	+2.5~+3.9℃	+2.5~+3.9℃
やや高い(20%)	+0.7~+1.5℃	+1.0~+2.4℃	1.5~+3.9℃	+0.7~+1.5℃	+1.0~+2.4℃	+1.0~+2.4℃
平年並(40%)	+0.6~+0.6℃	+0.9~+0.9℃	1.4~+1.4℃	+0.6~+0.6℃	+0.9~+0.9℃	+0.9~+0.9℃
やや低い(20%)	-0.7~-1.5℃	-1.0~-2.4℃	1.5~-3.9℃	-0.7~-1.5℃	-1.0~-2.4℃	-1.0~-2.4℃
低い(7.5%)	-1.6~-2.3℃	-2.5~-3.9℃	4.0~-5.9℃	-1.6~-2.3℃	-2.5~-3.9℃	-2.5~-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃~	-4.0℃~	-6.0℃~	-2.4℃~	-4.0℃~	-4.0℃~